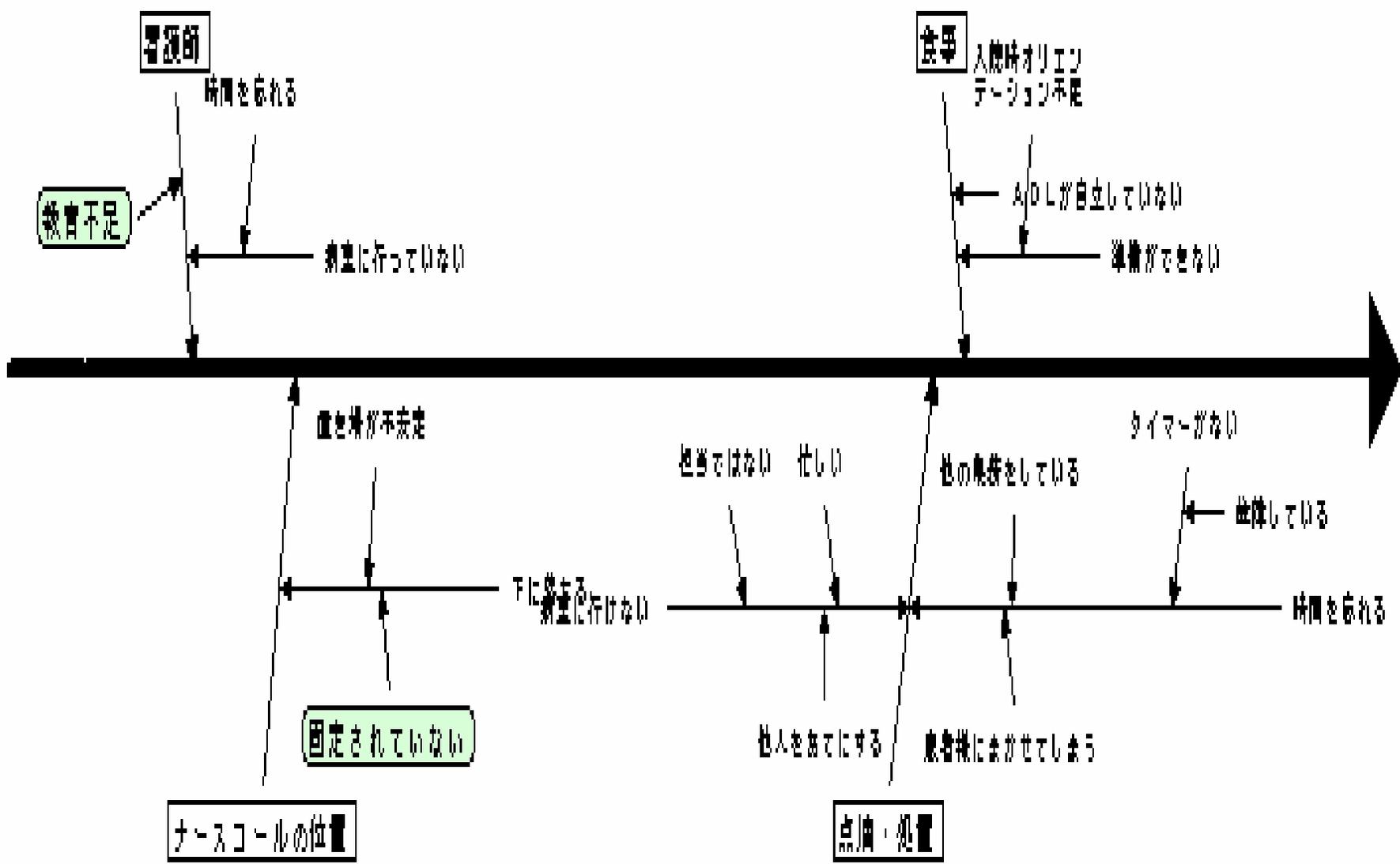


予測されるナースコールがなせぬ原因を列挙する



5. 対策の検討と実施

手順

1. 対策項目のリストアップ

2. 対策案を具体化する

3. 対策案を評価

4. 実施計画を立てる

5. 対策を実施する

← ステップ4

ステップ6 →

おすすめのポイント

 対策案を系統図にまとめます

データファイル

新規作成

追加

削除

ファイル名

系統図.TD7

起動

解析手法

系統図

 キーノートNo.5

課題を進めるためのヒント

 【要因を考えて、対策案を選定する】

【選定された対策案を、実行可能な具体策のレベルまでブレイクダウンする】《系統的に行なう》

《対策案》【費用や時間、制約条件、リスクなどを考慮する】

◆系統図◆ Tree Diagram

【目的を果たす手段を系統的に求める(方策展開型系統図)】

- ・目的に対して(一次)方策を挙げる。次に各(一次)方策を目的にして、(二次)方策を挙げる。三次、四次、...と具体策まで十分ブレイクダウンする。

(ポイント)「方策」の表現:「～を～する」D10, The Institute of JUSE. All Rights Reserved.



<◎-3点,○-2点,△-1点,×-0点>

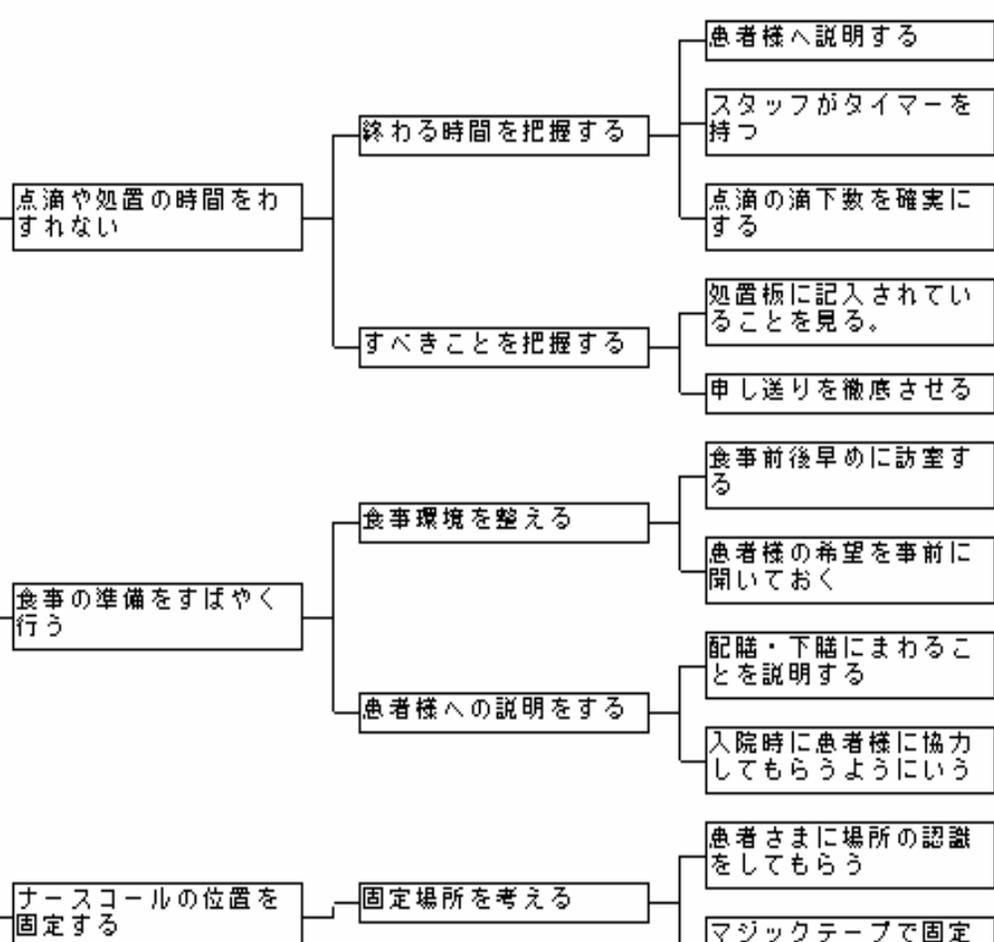
1次対策

2次対策

3次対策

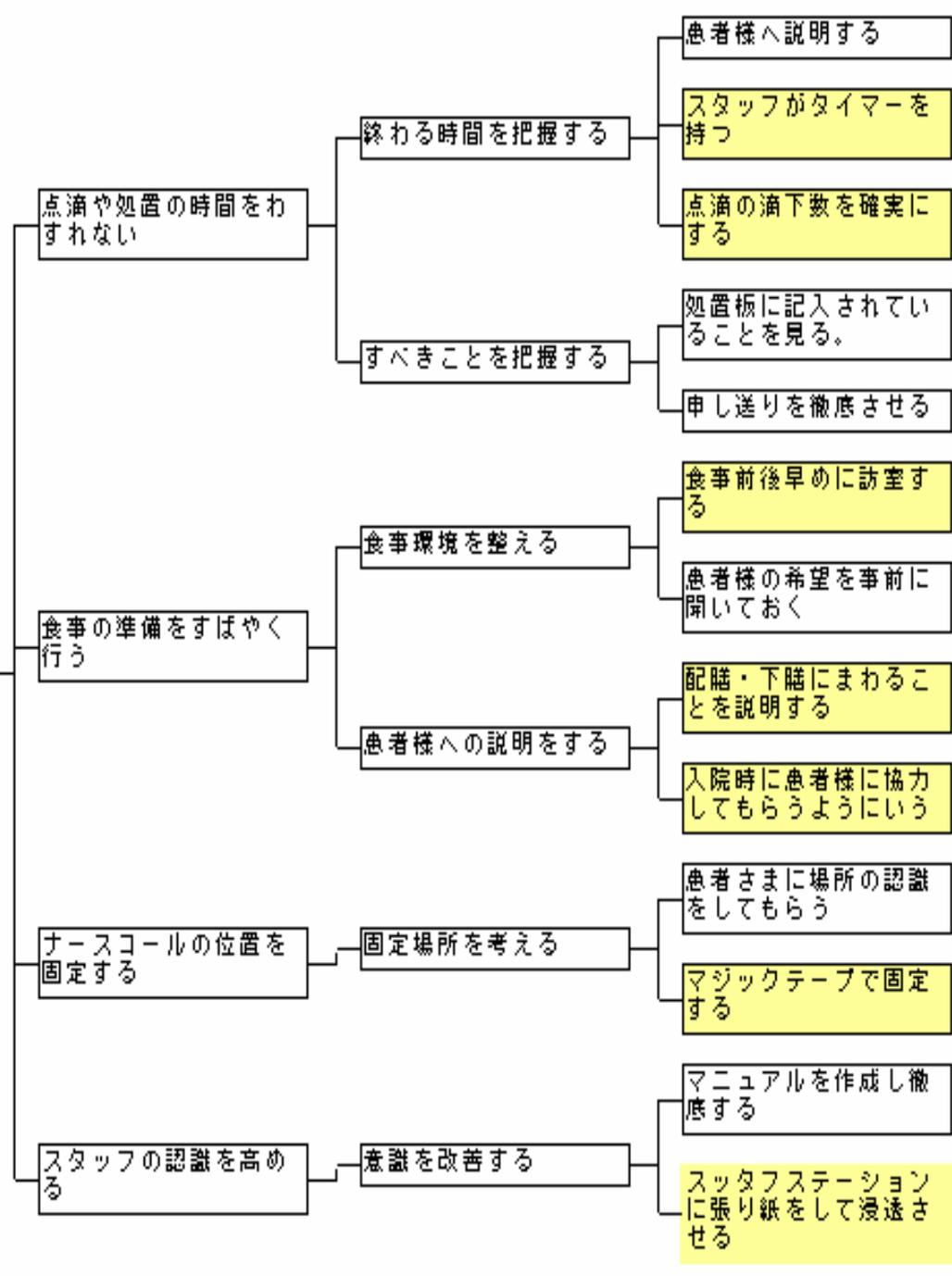
効果	実現性	重要性	持続性	得点	参照	備考
----	-----	-----	-----	----	----	----

予測されるナースコールを減らすためには



△	○	◎	△	7		
◎	◎	○	◎	11		
◎	○	◎	◎	11		
◎	△	◎	△	8		
◎	○	◎	△	9		
◎	○	◎	◎	11		
○	△	○	△	6		
◎	◎	◎	◎	12		
◎	◎	◎	◎	12		
◎	○	○	○	9		
◎	◎	◎	◎	12		

予測されるナースコー
ルを減らすためには



△	○	◎	△	7		
◎	◎	○	◎	11		
◎	○	◎	◎	11		
◎	△	◎	△	8		
◎	○	◎	△	9		
◎	○	◎	◎	11		
○	△	○	△	6		
◎	◎	◎	◎	12		
◎	◎	◎	◎	12		
◎	○	○	○	9		
◎	◎	◎	◎	12		
△	○	◎	○	8		
◎	◎	◎	◎	12		

6. 効果の確認

手順

1. 効果の確認方法

2. 目標に達したか

3. 波及効果も考える

すすめ方のポイント

● 対策後の効果を測定し、目標値と比較してみます

データファイル

新規作成

追加

削除

ファイル名

起動

解析手法

- パレート図
- 折れ線グラフ
- 棒グラフ

← ステップ5

→ ステップ7

📌 キーノートNo.6

課題を進めるためのヒント

● 《対策効果の確認》

【採用したすべての対策結果をチェックする】

【効果は対策ごとに分けて調べてみよう】

《当初の目標値と比較する》 ⇒ 《達成度を把握する》

(ポイント) 【グラフを利用する】

123

	X1	X2	X3	X4	X5	X6	X7	X8	X9
	サンプル名	改善前	改善後	変数4	変数5	変数6	変数7	変数8	変数9
1	トイレ介助	214	183						
2	鳴る前に対応	264	142						
3	症状訴え	61	56						
4	ケア	15	8						
5	無言	127	10						
6	その他	144	142						
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									

Navigation bar with left and right arrows and a menu icon.

手法選択

パレート図

データ入力方法

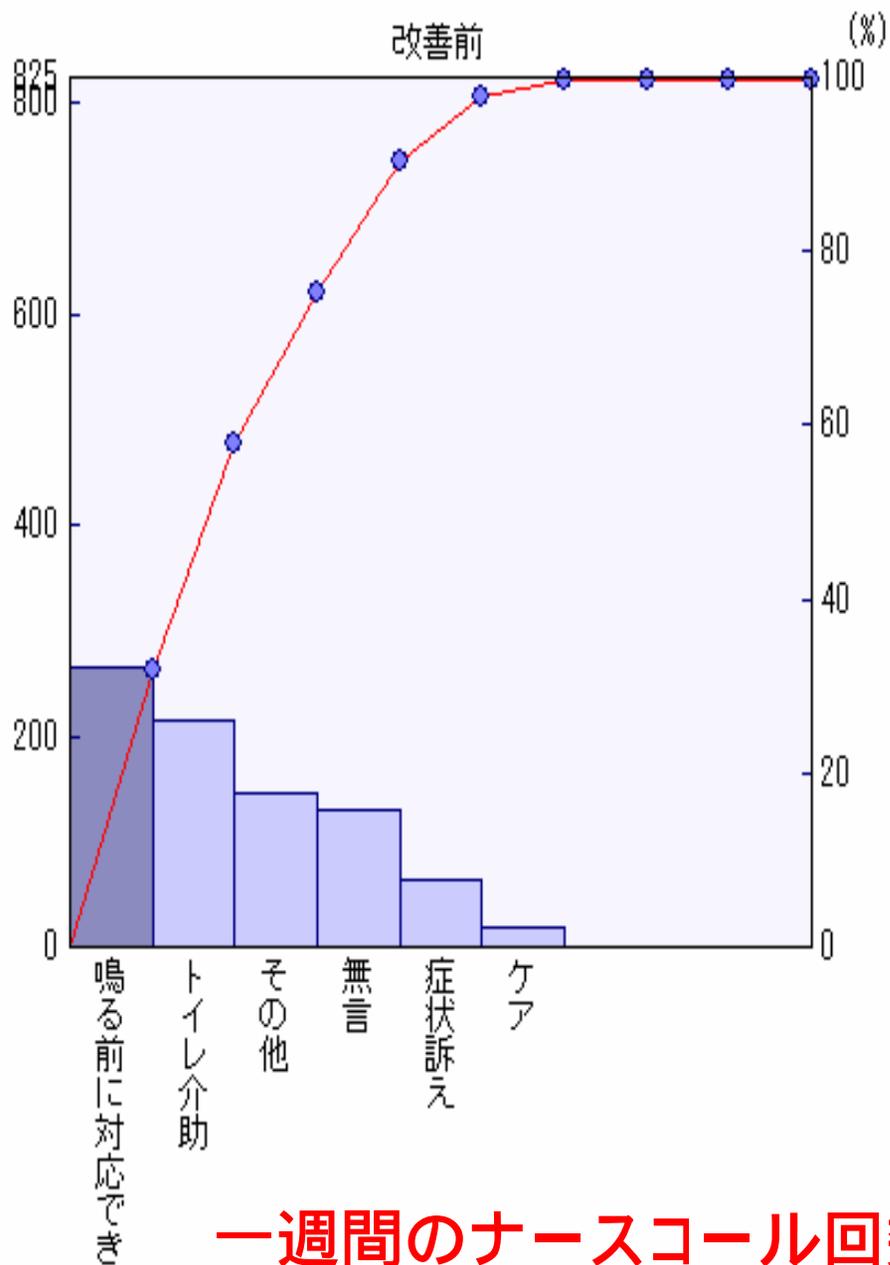
パレート図:重要項目の絞込み,改善前・改善後の比較
 【不良件数(集計されたデータ)】

	改善前	改善後	金額
キズ	6	3	5000
汚れ	7	2	2000
歪み	5	3	8300

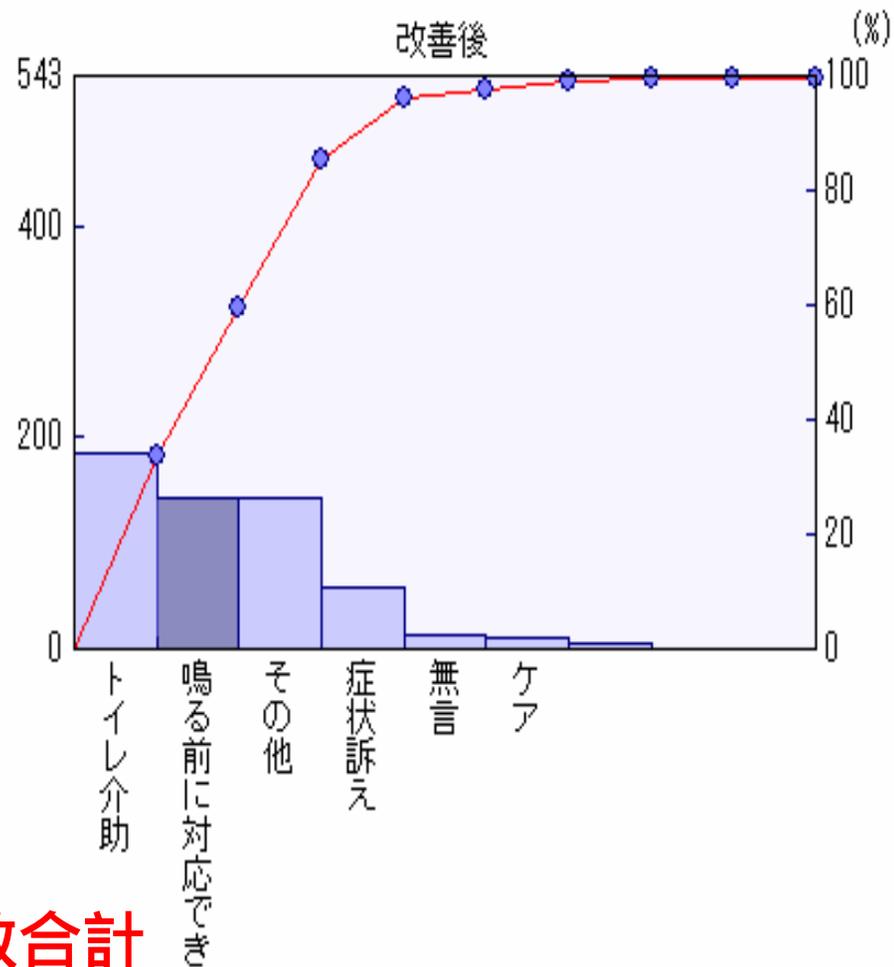
↑ 不良項目名 ↑ 不良件数 ↑ 単位あたりの金額
 単位あたりの金額を入力すると,損失金額を計算してパレート図を描く

OK

キャンセル



目標達成率92%



一週間のナースコール回数合計

7. 標準化と管理の定着

手順



1. 標準化は対策と対比させておこなう



2. 歯止め策をつくる



3. 反省と今後の進め方

すすめ方のポイント



効果が維持できるよう歯止め策をつくります

キーノートを参考に記録を取っておきましょう



関係者に管理方法などを周知徹底します



標準が維持されていることを確認する

データファイル

新規作成

追加

削除

ファイル名

起動

解析手法



キーノートNo.7



ステップ6



最終ステップ

課題を進めるためのヒント

💡 5W1Hで歯止め策を検討する

デジタルカメラやビデオ、看板や回覧なども活用する。

まとめ

(利点)

- ・ Q C 活動でのツールの使用が容易である。
- ・ Q C 活動に苦痛を感じない。
- ・ 用紙集の作成が容易である。(見栄えがよい)

(欠点)

- ・ パソコンへの慣れが必要
- ・ ひとつのパソコンでしか対応できない。

岩国市医療センター医師会病院様の
現場アイデアから生まれました。

特許出願中

いつも手元に安心のナースコール

NURSE CALL
band ナースコールバンド

株式会社ケアコム
TEL 0120-047-533

ナースコールバンドのご使用方法

このバンドは患者の病室の扉に固定し、呼び出しボタンを押すことでナースコールを行います。

■バンドの準備



■使用例

■壁に固定

■コードを固定

■バンドを固定



予備のコードも、ナースコールバンドで固定して使用することで、モヤッバンドの
上から取り出すことができます。コードの断線を防ぐことができます。

⚠ 注意：上記以外の目的で使用しないでください。





ご清聴ありがとうございました

掲載されている著作物の著作権については、制作した当事者に帰属します。

著作者の許可なく営利・非営利・イントラネットを問わず、本著作物の複製・転用・販売等を禁止します。

所属および役職等は、公開当時のものです。

■公開資料ページ

弊社ウェブページで各種資料をご覧いただけます <http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/>

■お問い合わせ先

(株)日科技研 数理事業部 パッケージサポート係 <http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/contact.html>